\初級日本語よみもの/

げんき多読ブックス

GENKI Japanese Readers

鉢(はち)かぶり姫(ひめ)

池田 庸子［再話］
坂根 久美子［絵］

The Girl with a Bowl on Her Head

the japan times PUBLISHING

Box 4 L19-1

単語(たんご) Vocabulary

夫婦(ふうふ)	married couple
観音様(かんのんさま)	Kannon; Goddess of Mercy
お願(ねが)いをする	to make a wish; to ask a favor
琴(こと)	*koto* (Japanese harp)
鉢(はち)	bowl
頭(あたま)	head
息子(むすこ)	son
比(くら)べる	to compare
ドカーン	kaboom (the sound of a loud explosion)
雷(かみなり)	thunder; lightning
暮(く)らす	to live

＊この話は日本の昔話をもとにしています。

This story is based on a Japanese folk tale.

昔々、ある所に夫婦が住んでいました。
その夫婦はお金持ちで、大きくてきれいな
家に住んでいました。
二人は仲がよくて、毎日とても幸せでした。

でも、悩みがありました。結婚してから五年たちましたが、二人には子供ができませんでした。

夫婦はお寺に行って、観音様にお願いをしました。

「私たちは子供がほしいです。お願いします」

二人は毎日、毎日、お寺に行きました。

次の年、女の子が生まれました。夫婦は女の子に「初瀬」と名前をつけました。二人はとても幸せでした。

初瀬は頭がよくて、とてもかわいい女の子になりました。音楽が好きで、琴を弾いたり、歌を作ったりするのも上手でした。

でも、幸せは長く続きませんでした。
初瀬が十三歳になった時、お母さんが病気になってしまいました。お母さんの病気はぜんぜんよくなりませんでした。

ある夜、お母さんは夢の中で観音様を見ました。
「私はもうすぐ死ぬのですね」
お母さんはもうわかっていました。
「私は死んでもいいです。でも、初瀬をお願いします」
「初瀬ももうすぐ、死ぬでしょう」
観音様は言いました。お母さんはびっくりしました。

「お願いします。初瀬を助けてください。あの子はまだ十三歳です」

「それでは、初瀬にこの鉢をかぶせてください」

お母さんが起きた時、部屋に大きくて汚い鉢がありました。

お母さんは、初瀬を呼んで、言いました。

「お母さんはもう初瀬と一緒にいられない」

二人は一緒に泣きました。

そして、お母さんは初瀬の頭に鉢をかぶせました。

「この鉢があなたを幸せにしてくれるでしょう」

三日後にお母さんは死んでしまいました。

お父さんや家の人は、初瀬を見てびっくりしました。大きくて汚い鉢をかぶっているからです。みんなは初瀬の鉢を取ろうと思って、いろいろなことをしましたが、取れませんでした。

お父さんは、初瀬を見ると悲しくなるので、初瀬と話しませんでした。家の人たちも、初瀬が近くに来ると、気分が悪くなると言って、どこかへ行ってしまいました。

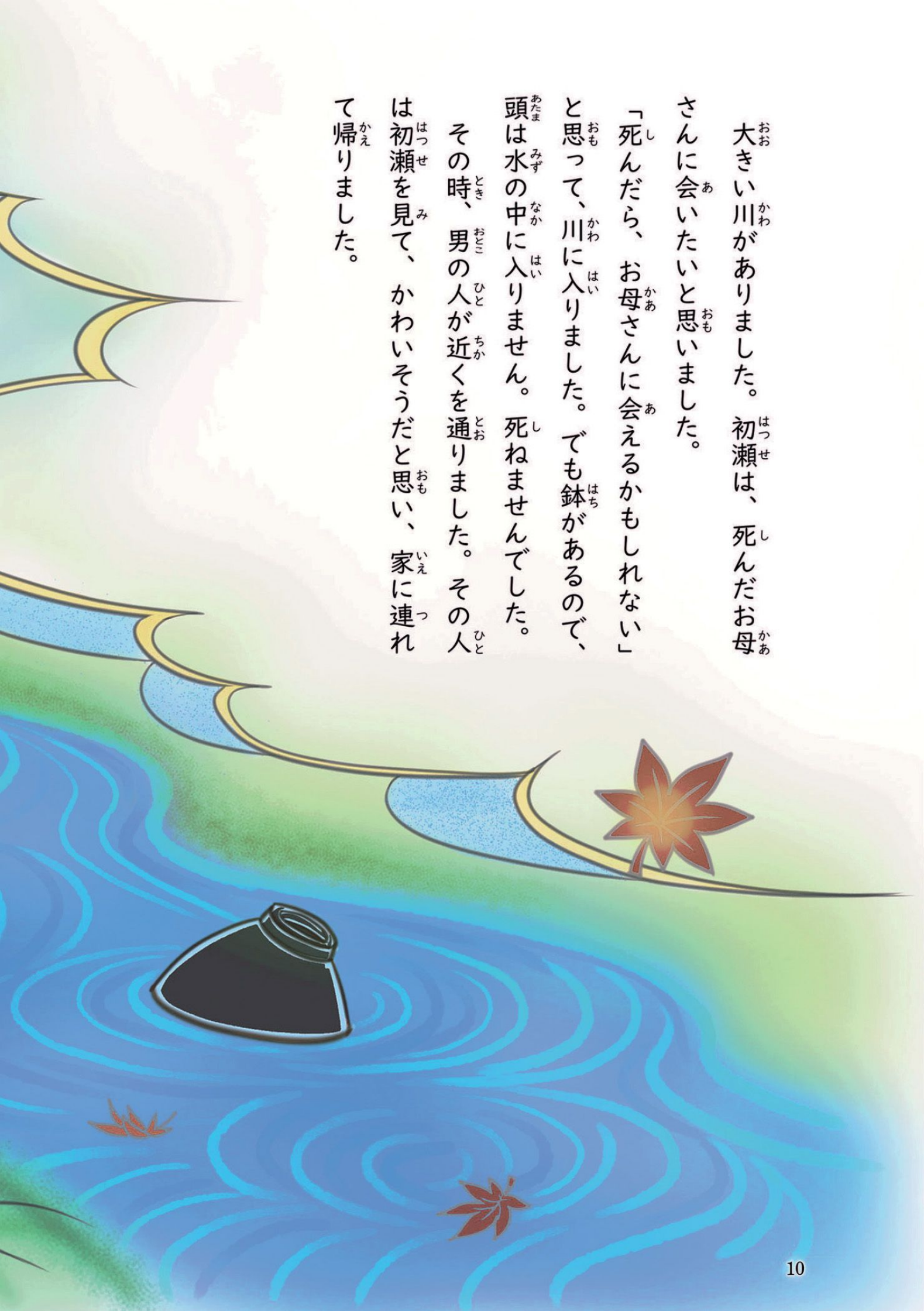
三年後、お父さんが結婚して、初瀬に新しいお母さんができました。
新しいお母さんはきれいな人でしたが、やさしい人ではありませんでした。
「汚い子が来ると、気分が悪くなるよ」
新しいお母さんは、初瀬を見て言いました。

初瀬は悲しくなりました。初瀬はいつも暗い部屋にいて、ご飯を食べるのも一人でした。
「私はこの家にいられない」
初瀬はそう思って、家を出ました。

大きい川がありました。初瀬は、死んだお母さんに会いたいと思いました。

「死んだら、お母さんに会えるかもしれない」と思って、川に入りました。でも鉢があるので、頭は水の中に入りません。死ねませんでした。

その時、男の人が近くを通りました。その人は初瀬を見て、かわいそうだと思い、家に連れて帰りました。



その男の人には、四人の息子がいました。息子の名前は「一郎丸」「二郎丸」「三郎丸」「四郎丸」でした。上の三人の息子は結婚していましたが、四番目の四郎丸は結婚していませんでした。

家はとても大きくて、たくさんの人が働いていました。初瀬はその家で、掃除をしたり、料理をしたり、家の仕事を手伝ったりしました。